

パネルディスカッション2

肝胆膵外科における高気圧酸素療法 (HBO) の有用性

平井一郎 高橋良輔 菅原秀一郎 福元 剛
手塚康二 渡邊利広 木村 理

山形大学 第1外科

【はじめに】

高気圧酸素療法(HBO)は消化器領域ではイレウス、腸間膜気腫症などに行われているが、肝胆膵領域での報告は少ない。HBOは病的組織の酸素分圧を高めるばかりでなく、局所の浮腫が軽減し血流障害も改善する。当科では特に感染性の疾患や術後合併症に対して手術やIVRでのドレナージのみでの治療効果が少ないと考えられた肝胆膵外科関連疾患に対しても補助療法としてHBOを行ってきた。HBOの有効性について報告する。

【対象】

肝胆膵外科関連の29例に対し、32回のHBOを行った。肝膿瘍8例、肝切除後の離断面感染3例、膵頭十二指腸切除術(PD)後の膵液瘻・腹腔内膿瘍6例、膵体尾部切除術後の膵液瘻・腹腔内膿瘍7例、十二指腸穿孔による後腹膜膿瘍2例、急性胆嚢炎2例、脾膿瘍1例であった。

【全症例の結果】

全症例でのHBO平均施行回数は11.7回(4~28回)であった。HBO開始時に38度以上の発熱を伴う22例で発熱からHBO開始までの期間は平均5.2日(0~27日)であった。29例でHBOが有効でなく、他の治療法が必要であった症例は3例であった。よってHBOは90%(26/29例)に有効であった。無効の3症例は胆管癌肝転移の膿瘍化例、膵体尾部切除術後の膵液瘻の1例、脾膿瘍であった。

発熱例でHBO開始から最高体温が38度未満になるまでの平均日数は1.6日(0~5日)であった。

29例でのHBO開始時と終了後の白血球数は平均11,472 μ lから6,806へと有意に低下した($p<0.001$)。平均CRP値は12.1mg/dlから2.3へと有意に低下した($p<0.001$)。

また興味深い肝胆膵症例のHBO前後の画像を提示

した。

【結語】

1. HBOは他の治療手段の補助的な治療法ではあるが、液状化していない肝膿瘍、十二指腸穿孔の後腹膜膿瘍、肝胆膵手術後でドレナージ困難症例に有効である。
2. HBOは90%の症例に有効であり、有効例では平均5.2日で解熱し、平均11.7回後に白血球数、CRP低下、画像所見の改善が得られた。
3. HBOは嫌気性菌のみならず、好気性菌にも有効である。
4. 抗生剤、ドレナージなどで改善が得られない場合にはHBOも考慮すべきである。